

# 東北新幹線八戸駅開業 10 周年記念 ・復興支援ツアー訪問地あれこれ

2012.12.1-2

12月1日(土)

## ①おいらせ町・日本一の自由の女神

町のシンボル「自由の女神像」。米国、ニューヨークと同緯度で結ばれていることから、北緯 40 度 40 分の「4」の数字にこだわり、本家の 4 分の 1 の大きさに 1990 年 12 月 28 日建立。材質は FRP—繊維強化プラスチック製、高さは本体 11.5m、台座 9.3m を含めて 20.8m。また、夜間は鮮やかにライトアップされファンタジックな世界を創出。

### [その他のおいらせ町あれこれ]



〈長寿日本一・根岸の大いちょう〉樹齢 1100 年以上ともいわれる大いちょうは、幹の周囲が 16m、高さ 32m もあり、乳不足の母親が、乳がでるように祈ればその願いが叶うとして信仰されている。また、慈覚大師がこの地を訪れた際に旅の疲れのために寝入ってしまい、その時身体を預けたいちょうの杖が根を生やし、現在の大いちょうになったという伝説も。〈氣比神社〉江戸期、おいらせ町の北部には盛岡南部藩最大の藩営牧場である木崎野牧がおかれており、氣比神社は馬をまつる神社として信仰が厚い。当時の交通手段であった馬から近年では交通安全の神様としても人気。〈



大山将棋記念館〉故大山康晴 15 世名人ゆかりの貴重な将棋資料を展示。旧・百石町が将棋の駒の素材・ツゲなどの有力な産地だったことから、度々当地を訪れ、将棋の普及にも努め、自ら「第二の故郷」と愛した。名誉町民第 1 号。〈下田公園〉800 本の桜が咲き乱れ、また水芭蕉や座禅草、ひつじ草などの湿生植物の美しい群生を楽しめる。間木堤は野鳥の宝庫でもあり、野鳥観察保養施設「白鳥の家」がある。〈カワヨグリーン牧場〉一面の芝生と 360 度の視界、まるで北欧の牧場にいるような情趣を抱かせる牧場は全国的にも根強いファンを持つおいらせ町自慢の牧場。ユース hostel やレストラン、野外バーベキュー場も。〈二川目海洋公園〉見渡せばはるか広大な太平洋、海辺にある公園で、オートキャンプ場が整備（利用無料）。〈アグリのリおいらせ〉県南地区の出品農家が中心となって、採れたて新鮮な野菜や果物を直売。熱帯果樹ハウスや観光農園、天然温泉足湯も併設。



## ②八戸市・八食センター

水揚げされたばかりの新鮮魚介類、乾物や珍味、お土産、八戸名物が勢揃い！八戸の味を食べ尽くすならココ！全長 170m のビッグストリートに約 60 店舗が軒を連ねるドデカ市場。八食センターには『厨スタジオ』と『味横丁』という 2 つの飲食街があり、獲れたて魚介類を味わえる。大好評の『七厘村』では店内で買った食材を炭火で食べられる。

## ③長者山新羅神社

創建は、延宝六年（1678）に八戸藩二代藩主の南部直政（なおまさ）が、藩主の守護、領内の五穀豊穡、万民安穩、無病息災の祈願所として社を建て、三社堂又は虚空蔵堂と称されたのが新羅神社のはじまりとされています。その後、明治の神仏分離令により三社堂は新羅神社となり長者山新羅神社と呼ばれている。現在の社殿は、文政九年（1826）から同十年にかけて建立されたもので、本殿は入母屋造りで向背柱廻りや正面扉などに華麗な彩色模様が施されている。本殿・拝殿とも細部の彫刻などに





江戸時代の特徴が良く表現されていることから、平成三年に県重宝に指定。新羅神社は、長者山の名で地域住民から親しまれ、2月には八戸地方に春を呼ぶ「えんぶり」の奉納舞、8月に行われる「八戸三社大祭」では、お通り（1日）に内丸のオガミ神社から神輿渡御が行われ、中日（2日）には県無形民俗文化財に指定されている日本三大騎馬打毬「加賀美流騎馬打毬」が桜の馬場で開催される。御祭神・素佐鳴尊、新羅三郎源義光命。

尚、埼玉県さいたま市見沼区南部領辻にある鷲神社は新羅神社ゆかりの神社と言われる（さいたま市教育委員会）。ここに伝わる辻の獅子舞の起源は、約900年前、**八幡太郎（源義家）**の奥州征伐の応援に、弟で笛の名手としても知られる**新羅三郎（源義光）**が、ここに立ち寄り軍兵の士気を鼓舞するために舞い鷲神社に奉納したことによるとされる。

#### ④ポータルミュージアム「はっち」

「はっち」は、地域の資源を大事に想いながら、まちの新しい魅力を創り出すところ。創造開化のために具体的に①多様なひとや情報の交流に開かれた地域の文化にふれる場。②創作活動をサポートする施設の貸出と人的サポートの提供。③地域資源を活かした事業のプロデュースにより新しい価値を創造。の3つの事業を展開。



12月2日（日）

#### ①館鼻岸壁朝市

協同組合湊日曜朝市会と海の朝市実行会の2団体によって運営。通路約800mの両側に並ぶ出店数は約350店、来場者は、毎週1万人以上に及び、全国最大規模の朝市とも。



#### ②是川縄文館

八戸市は、太平洋を望む青森県南東部に位置し、その中心部を流れる馬淵川（まべちかわ）と新井田川（にいだかわ）沿いなどに多く遺跡が分布している。これまでの発掘調査によって、旧石器時代から江戸時代までの各時代の遺跡がみつかり、中でも縄文時代の「長七谷地貝塚」「是川遺跡」、古代の「丹後平古墳群」、中世の「根城跡」の4遺跡は、国史跡に指定されている。

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館は、隣接する是川遺跡や風張1遺跡などを通して東北地方の優れた縄文文化を発信し、埋蔵文化財の積極的な公開活用と適切な保存管理を図る施設として建設された。

#### ③八戸キャニオン



八戸鉱山は、住金鉱業株式会社が経営、石灰石を採掘する露天掘りの鉱山である。地元では、八戸キャニオンと呼ばれており、展望台も設置されていて自由に眺めることができる。採掘場は階上町になる。

人工ではあるものの日本一標高が低い（地上の）地点が存在する。その深さは海拔約-160m。総延長が10kmにも及び地下輸送管が八戸港埠頭まで延び、採掘された石灰石をベルトコンベヤーで輸送している。鉱区の幅：南北に2km、東

西に800m、深度：海拔-160m 地表（川面）から190m、石灰石埋蔵量：10億トン

#### ④階上町・道の駅「はしかみ」

階上町（はしかみちょう）は、入り組んだリアス式の海岸線が続く三陸海岸の最北端に位置し、青森で1番早く朝日が昇る町。「道の駅・はしかみ」は、宮古から久慈を経て八戸へ至る国道45号沿いに、県内では2番目にオープン。「観光物



産館「生産物直売所」。ここでは、磯の香りたっぷりのウニやアワビなどの新鮮な海産物、野菜や山菜、キノコ、民芸・特産品、加工品の展示・販売を。「レストラン」では、プリッとしたウニと歯ごたえのよいアワビを使った名物「いちご煮」や、ウニ丼、海鮮ラーメンを賞味できる。

### [その他の階上町あれこれ]

<寺下観音>奥州南部糠部三十三ヶ所巡礼一番札所。観音堂の中には、千数百年前に行基という高僧が伝えたという観音像が安置。境内には西国三十三ヶ所巡礼の観音様が祭られており、ここでお参りすればそのご利益も受けられると言われている。また観音堂のほかに潮山神社があり、神仏混交の地として古くから霊地として近隣の人々から信仰されてきた。<階上灯台>県立自然公園の一画をなし、



階上灯台のある小舟渡海岸は、芝生地帯、岩礁地帯と変化に富んだ海岸線が特徴。ここは、毎年7月下旬に行われる「いちご煮祭り」の会場でもある。県内最東南端の地で、県内で一番早く朝日の昇る場所。<階上岳龍神水>「岳大明神」は山形県鶴岡市の善宝寺にある龍神の分身といわれ、雨と水の神で、日和乞いや雨乞い、地鎮や風鎮、豊作加護、悪魔払いに信仰されてきた。この龍神水は山の山頂付近の湧き水としては珍しい。<階上岳(臥牛山)>標高740mの階上岳。北西には隣接

する八戸市街、八甲田連峰を一望でき、北東には広大な太平洋、また南西には北上山脈を眺めることができる。山の8合目、大開平には天然のつつじが見事に群生し、6月上旬～中旬の花盛りの時期には登山者の姿が絶えない。夏はもちろんのこと、冬のハイキングも楽しむことができる。<階上海岸>種差海岸階上岳県立自然公園の一角をなす延長5.5kmの階上海岸は、芝生地帯、岩礁地帯と変化に富み、キャンプ、釣りなどアウトドアレジャーには格好の場所。磯釣りポイントは数カ所、沖釣りも3漁港(大蛇、追越、小舟渡)から観光漁船に乗って楽しむことができる。

### ⑤種差海岸

種差海岸は、青森県八戸市東部にあり、下北半島から続く穏やかな砂浜の景観と三陸海岸の険阻な岩礁と断崖の磯浜の景観がちょうど混ざり合う地点にある。国の名勝に指定されている(1937年指定)。地名の由来には諸説あるが、アイヌ語の「タンネエサシ」(長い岬)から来ているという説が有力視されている。種差海岸階上岳県立自然公園に指定されており、また日本の白砂青松100選や新日本観光地百選などに選定されている。良質な鳴砂の砂浜でも知られている。2014年、三陸復興国立公園として編入予定。



### ⑥蕪島



蕪島は、八戸市鮫町にある島でウミネコ繁殖地として国の天然記念物に指定されている <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%95%AA%E5%B3%B6> - cite\_note-0。「島」と呼ばれているが、内務省と海軍省の委託工事として1942年(昭和17年)に旧海軍により2年がかりの埋め立て工事が行われ、本土と陸続きとなった。名称の由来には諸説あり、①蕪の花が咲く島。この「蕪」は野生のアブラナを指す。②神を

祭る場所としての「神嶋(かむしま)」、「神場島(かばしま)」。地名は蕪島で、島の頂上に鎮座する蕪嶋神社は社伝によれば永仁4年(1269年)に巖島神社を勧進したのがはじまりだという。祭神は多紀理毘売命、市寸嶋比売命、多岐都比売命で「蕪嶋の弁天様」として信仰を集めてきた。弁財天は商売繁盛や子授けにご利益があるとされているが、漁業の守り神でもある。



### [その他の八戸市のあれこれ]

<青葉湖>2003年に完成した「世増ダム」によって造られたダム湖。展望台からは四季折々の風景が楽しめる南郷区の絶景スポット。<市民の森・不習岳>市民の憩いの場として昭和53年に開設。折爪岳や階上岳を望むことができる展望台、自然を満喫できる林間歩道、バーベキューが楽しめるキャンプ場などがある。また、様々な野鳥、動植物や昆虫などが生息、豊かな自然を楽しむことができる。<八戸三社大祭>約290年の歴史を誇る八戸市最大のお祭り。雅な神社行列と日本一の人形山車といわれる27台の豪華絢爛な大型山車が市中心街を運行。毎年8/31前夜祭、8/1御通り、8/2中日、8/3御還り、8/4後夜祭。<八戸えんぶり>八戸市中心街、市庁前市民広場ほか八戸に春を呼ぶ豊作祈願のお祭り。えんぶり組が、馬の頭をかたどった烏帽子を被った太夫の勇壮な舞と、子どもたちの愛らしい祝福芸を披露。かがり火えんぶり、お庭えんぶりなど。2/17-20。<南郷ジャズフェスティバル>場所=カッコーの森エコーランド野外ステージ。国内外のトップジャズアーティストが集結！全国から多くのジャズファンが集まる。7月。<清水寺観音堂>青森県最古の木造建築で、国の重要文化財。平安時代に慈覚大師によって創建されたと伝えられる。<羽仁もと子記念館>日本人初の女性記者で雑誌「家庭の友」「婦人之友」を創刊した羽仁もと子（八戸市出身）の遺品等を展示。<南郷歴史民俗資料館>島守地区で実際に使われていた農具の資料の展示の他、隣の民具展示館は馬屋など実際の生活の様子を見学できる。<福一満虚空藏菩薩堂>南郷区島守にあり、京都の嵐山、福島柳津と並び日本三大虚空藏のひとつとされる。丑年と寅年の守り本尊とされ、毎年6月の例大祭では多数の人が訪れる。菩薩堂前には一対での大きさでは日本最大級とされる、丑と寅の石像があり、訪れた人が頭をなでる光景も。<櫛引八幡宮>南部氏初代光行公によって創建され、以降南部領総鎮守として約800年の歴史がある。国宝館には、二領の国宝「赤糸威鎧兜」、「白糸緘袂取鎧兜」をはじめ、多数の文化財が収められている。

